

事業の基礎情報

事業実施地域	京都府 木津川市
人材育成の対象	行政担当者／自治会長／地域交通事業者／医療・福祉事業者／商業施設事業者
人材育成の手法	事前講義／地域事業者・住民巻き込み型フィールドワーク／ワークショップ
人材育成の内容	他地域事例から交通再編の「選択枝」を、住民ワークショップを通じて「ニーズ抽出」及び「既存交通資源把握」の手法を学ぶ。また、自治会長を起点とした路線再編方針に関する地域住民との合意形成プロセスを構築
想定育成人数	10名～15名程度を想定

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

- 地域においては、路線バス事業者の路線再編計画（減便）が提示されており、これまでの公共交通の体系を保つことが難しくなっている。今回題材とする城山台地区は、けいはんな学研都市の中で最も新しく街開きたエリアであり、当該エリアの地域交通インフラの維持向上に向け、新たなモビリティサービス導入も選択枝に柔軟な対応が求められているものの、手が打てていない状況
- その一因は、「誰が何に困っているのか？」「どのように支えるべきか？」が関係事業者間で明確になっておらず、個別・バラバラでの対応とならざるを得ないことにある
- 本事業では、住民ニーズの抽出方法及び住民との合意形成方法を学ぶとともに、「住民巻き込み型フィールドワークのコミュニティ形成モデル」を構築する。
- 大きく3つの観点から地域課題特定を行う【① <顕在ニーズ・困りごと特定>公共交通が不足し、生活において〇〇の活動ができず困っている事② <将来ニーズ・困りごと特定> 今後の人口減少等環境変化に伴い、将来的に困る事③ <潜在ニーズ掘り起こし> 交通利便性向上により、これまで気付いていなかった〇〇の活動ができるようになる事】とともに、これら課題に対しこれまでの対策でどこまでカバーできていたか、今後の取組課題は何か？を検証

（事業の概要）

「講義」「ワークショップ」「フィールドワーク」の3つで構成。MONET Technologies社が他地域事例紹介や、人流データによる生活圏分析、デマンド交通導入効果シミュレーション等を実施。KPMGコンサルティング社が路線バスの事業継続性向上方法や、ワークショップ・住民フィールドワークを通じた交通再編方針策定方法をレクチャーしながら合意形成プロセスとコミュニティWGを形成

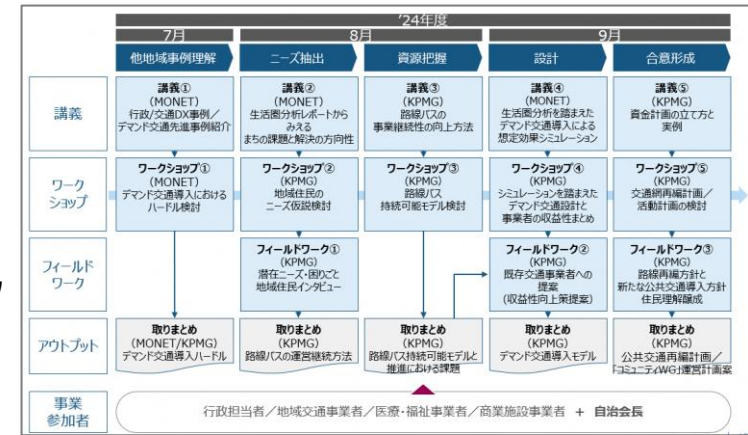
取組の詳細

（事業により見込まれる効果）

- 【効果的なサービスの創出】行政担当者・地域住民・交通事業者がデータを介して会話することで現状と問題点及び解決策を可視化しながら、全体最適観点から地域のモビリティサービス再構築を推進していく枠組み・土壌が形成される
- 【効率的なサービスUpdate】数年に1度の公共交通計画やパーソントリップ調査を待たず、地域のありたい暮らし・現状の問題点と原因の分析に基づくモビリティサービスをタイムリー・スピーディに実装可能となる

（事業実施手順・スケジュール）

- 7月、8月、9月の3か月間で、月1,2回程度の講義・ワークショップ・フィールドワークを通じて育成事業を実施
- 先進事例、データ分析、シミュレーションはMONET Technologies社に委託し、講義としてレポート
- 交通事業継続性向上方法や資金計画の立て方に関する講義、各種ワークショップ、アウトプットの取りまとめはKPMGコンサルティング社に委託することで推進予定



（補助事業実施後の予定）

- ニーズ把握・検証を目的とした本事業を第1号案件として運用体制を確立し、京都ビッグデータ活用プラットフォーム運営協議会(以下、協議会)の傘下に「コミュニティWG」を組成、京都府他地域への横展開を図る
- 「コミュニティWG」で検証したニーズの支え方検討・事業化検討の枠組みとして、'25年度に、協議会において「実証・事業化WG」を組成し具体モビリティサービス立案・実証を通じ、事業性を検証。資金として、共創モデル実証運行事業の活用を想定
- 「実証・事業化WG」で事業性が目途付けられた事業につき、協議会傘下の「個別プロジェクト」として座組構築。各種モビリティサービスの必要機能を提供可能なプレーヤーのリソース提供体制を事前に構築しておくことで、スムーズな機能具備・迅速な事業化を図る（※別事業において提案中）

